をよめる歟、然はするかと相似り、いかゞ、

箕面浦　つの國、是如何、不審也、

三島浦　同ゝ右、もしほ火、櫻貝、波のたつ三島の浦のうつせがひむなしきからに我やなりなん

みのぶの浦　未ゝ勘なしうかりける名のみ立はきゝのうらのうつせがひむなしきや、但筑前歟、

三浦　さがみなるれつこ草あひみずらあらばや我戀んと云々、

蓑浦　近江、長明詠

三熊野浦　紀州、又伊勢、はまゆふ、戀、船、松、手向草、駒

水江浦　奥州さよ更て都の江に出るの月影を水のうらに

三名部浦　紀州なるいそなみつなべのうら、鹽みつなみてかへりこん、

水傳磯浦　同上、岩つじ、

三津浦　近江、しての音松、

御座浦　土佐なしうちにせとみましのうらはかとつゞけたり、

御津浦　攝州西生郡、蘆、難波づをけふこそみつの浦ごとにこれや此世をうみわたる舟

三犬女浦　攝州、ます鏡、千鳥、もゝ舟、松、月、鹿、あま、もしほ木、うき人、

三上浦　近江野洲郡、月、ますかゞみ、さゞ波のくにつ三上

あた波、忘がひ、

みるめの浦　みつ鹽のなかれひるま、雪、のうちにすむあまもこゝろのとはゞやなみもるめのふと

三方浦　若州、

鹽屋浦　紀州、煙、あま、思事なくみてかなふる神なればゝほ屋に跡をたるゝ、宗祇注之不審あり、

志田浦　駿河、月、うきしま、船はよしあしにこぐらめかもよなし

こゞら

鹽竈浦　奥州宮木郡、煙、絶にし、浦さびしく、うらこぐ舟のつなでかなしも、前にうき立名するうきしま、雪、霧、月、たくもの煙、人めも見えぬ、ひかた、白川の關のあなたにうき立名するる、と

信夫浦　同ゝ右、人め、やくしほ、あまのたく縄、けぶり、或は、立けぶり、ほ火、

志賀浦　近江、又筑前糟屋郡にも有、よめる

夕けぶり、をくあみ、人しれぬ名にたつあまのもしほ火、

白神磯浦　ゆらのさき、

柴浦　にけぶりとみえてたつ千鳥かな、

白菅浦　とをたうみ、松、入海、

鹽津浦　あふみ、淺井郡、

敷津浦　攝州、なのりそ、春霞、もしほ草、時雨、岩根の松を枕、松のむらだち、月、衣手、雪、眞砂地うき枕、こよ

しまの浦　紅葉はによする大和路のしまのだうらにあまの袖みゆ

ひかたの浦　未ゝ勘くるしまにうらしらし夕鹽のひかたのうらにあまの袖みゆ

飾磨浦　播州、つり船、民、

諏磨浦　攝州八部郡すまのあまの鹽やき、ぬの藤衣まとなにあれ

藻鹽浦　未ゝ勘絶

日笠浦　播州ひかさの浦になみ野は行過ぬらしあまつたふ

比良浦　近江中

延鳥浦　よしやえしたゞならすこもかもと

繪島浦　淡路、松、櫻、月、千鳥、紅葉、雪、

屏風浦　右同

立けるかびや坂の關をこさじと

霞世にあふ坂の關をこさじと

ひばかりや旅れせん、旅れの夢、

いかなる時におもひけれん

まゝに君に戀すばひらの浦のあまなら

ましを玉もかりつゝ

まだきなれすにたてるそなれ松しづ枝は波のうたぬ日ぞなき、山下風にうらづたひする

まのうらのあまのこがつむもしほ木のからくも下にもえ渡るかなすばいまのうらのなぎさにたてるそなれ松しづ枝は波のうたぬ日ぞなき、山下風にうらづたひする